

政策協定書

令和5年4月9日に実施される静岡市長選挙において、難波喬司静岡市長選立候補予定者と立憲民主党は、以下の内容を合意したうえで、政策協定を締結し、住民自治に基づく市民本位の市政を実現するため相互に協力して政策の実現を図ることを確認する。

記

1. 「静岡市民が幸せを実感できる静岡の実現」に向け、次の事項をお互いに理解し、その実現に向けて取組んでいくこと。
 - 1) 開かれた市政実現のため、本市自治基本条例等に定められる説明責任を着実に果たし、情報公開、市民意見聴取を丁寧に行うことで、市民の信任のもと、公正かつ誠実に市政運営に取り組むこと。
 - 2) 財政規律を堅持し、持続可能かつ公共の利益に資する事業に取り組むこと。
 - 3) 政官財のしがらみから脱却し、政治と行財政の適切な改革を着実に実行すること。
2. 大規模災害、新興感染症等への危機管理体制を強化し、市民の生命、財産、公衆衛生を守る取組みを拡充すること。
3. 自由と多様性を尊重し、持続可能かつ成熟した共生社会の実現に向け、未来への責任を着実に果たしていくこと。

令和5年1月19日

静岡市長選挙立候補予定者

難波 喬司

印影

立憲民主党静岡県総支部連合会代表

渡辺 周

印影